

I 令和8年度 学校経営の概要

1 学校経営に当たって

(1) 地域の実態

本校は由利本荘市中心部から東へ約10kmの場所に位置し、すぐ傍を子吉川の支流である芋川が流れ、北側・南側を山々に囲まれた農村地帯にある。近隣には国道105号線、大内ジャンクション、道の駅があり、交通量も多い地域である。

地域住民の多くは地元企業や本荘地域の企業等に勤め、高齢者は農業に従事している。保護者は学校に協力的で、PTA活動や奉仕作業にも積極的に参加している。また、地域住民も学校教育への関心が高く、クラブ活動や安全・安心見守り隊、スポーツ少年団などへの支援を惜しまない。地域全体で子どもたちの安全と成長を見守ろうとする意識が高いことから、コミュニティ・スクールや地域協働活動事業を活用し、地域に開かれた学校づくりを推進している。

(2) 児童の実態

全校児童数は137名（男子76名、女子61名）であり、通常の学級6学級、特別支援学級2学級の計8学級で編制されている。

生活面では、明るく元気に活動する児童が多く、始業前や休み時間には学年を超えて活発に遊ぶ姿が見られる。縦割り活動では、上級生が下級生に優しく接し、下級生は上級生を慕い、和やかな交流活動が展開されている。係活動や当番活動、児童会活動にもめあてと責任感をもって取り組み、全ての児童が将来の夢を「夢短冊」に堂々と記載している。しかし、目標に向かって自ら努力したり、失敗を恐れず挑戦したりする主体的な姿勢は十分とは言えない。また、相手の気持ちを配慮しない言動によるトラブルも散見され、よりよい人間関係を築く態度の育成も課題となっている。

学習面では、県学習状況調査や総合学力調査の結果から、県平均や全国平均を上回る学年は少なく、平均を大きく下回る学年も見られ、学年差・個人差が大きい状況である。課題への取組は真面目であるが、主体的に考え、判断し、自らの考えや思いを表現する力と意欲には課題がある。また、特別な支援を必要とする児童の割合も高く、きめ細かな支援と配慮が必要である。

(3) 学校の課題と取組

① 前述の通り、本校児童の課題は、目標に向かって自ら努力したり失敗を恐れず挑戦したりする主体的な姿勢が十分とは言えないことである。そこで、児童の主体性を育むために、安心してチャレンジしたりやり直したりすることのできる環境づくりに努める。また、成長のためには失敗や間違いは絶対に必要であることや、児童に対して手をかけすぎず目をしっかりかけることについて、教職員はもちろん保護者とも共通理解を図りながら教育活動を推進する。特に学習面では、「アウトプット」「自己決定」「協働」に重点を置いた授業改善に取り組み、学ぶ楽しさや意義を実感できる楽しい授業づくりを通じて、主体的に学ぶ子どもを育てていく。

② 本校は、特別な支援を必要とする児童の割合が高く、特別支援教育の充実が重要な課題となっている。そこで、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、必要な指導や支援を的確に行うことができるように、特別支援教育に関する教職員研修を一層推進する。また、特別支援教育アドバイザーのほか、保育園や中学校、支援学校、SSW等との連携を強化する。さらに、児童同士が互いの個性を認め合い、支え合うことができるような学級経営や授業づくりを推進していく。

2 学校教育目標と目指す子どもの姿

(1) 学校教育目標

自律 ~いきいき わくわく やさしく~

児童の主体性を育むべく、令和7年度から、学校教育目標を「自律」としている。

「自律」とは、「どうすればよいかを自分の頭で考え、時には周囲の力を借りながらも、自分で判断し、行動すること」であると考えます。

将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、自分で課題を見つけ、その解決のために方法を考え、主体的に取り組む力が求められる。そこで、「いきいき」「わくわく」「やさしく」の三つの柱を通じて「自律」の力を育んでいく。

なお、児童自身が自ら「自律」の力を付けることを意識できるよう、令和8年度は「∞（無限大）」を合言葉に教育活動を展開していく。

(2) 目指す子どもの姿

【いきいき】 ⇒ 自律した生き方ができる子ども 「いきいきチャレンジ∞無限大！」

自分の考えに基づいて行動し、困難を乗り越えるしなやかな心をもつ子ども

【わくわく】 ⇒ 自律した学びができる子ども 「わくわく勉強∞無限大！」

学ぶ意義を理解し、主体的に取り組む姿勢をもちながら、自分に合った方法で学びを深めていく子ども

【やさしく】 ⇒ 自律した関わりができる子ども 「やさしさハート無限大！」

他者の気持ちや状況を理解し、相手を尊重しながら自分の考えを伝え、協働できる子ども

3 経営の重点

生徒指導の視点を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）

※自己存在感の感受 ※共感的な人間関係の育成 ※自己決定の場の提供 ※安全・安心な風土の醸成

(1) いきいき（成長保障）⇒ 子どもたちの成長を支える教育環境の整備

- ・教育活動全体を通じた子どもの自己肯定感・自己有用感の醸成
- ・日常的な自己決定の場の提供と、挑戦を歓迎する文化の醸成
- ・意欲と向上心を高めるめあての設定と振り返り活動の重視
- ・子どもの小さな成長や努力に対するポジティブな声かけ
- ・保育園・小・中学校との効果的な連携による成長を連続的に捉えた指導
- ・コミュニティ・スクール機能を生かした開かれた学校づくりと家庭や地域との協働

(2) わくわく（学力保障）⇒ 子どもたちの主体性を育む授業改善

- ・生徒指導の視点に基づく、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- ・「アウトプット」「自己決定」「協働」を重点とした授業改善の推進
- ・自ら計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」の取組の充実
- ・国や県の調査問題、単元評価問題等の、授業における効果的な活用
- ・支援を要する子どもへの適切な支援の継続と、ユニバーサルデザインの視点による授業づくり

(3) やさしく（満足保障）⇒ 心豊かな人間関係の構築

- ・教育活動全体を通じた道徳教育の充実（道徳科の授業づくり、規範意識の向上等）
- ・日常的に「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に伝えられる雰囲気醸成
- ・子ども同士が共感的な人間関係を築けるような、対話や協働の機会の充実
- ・相手や場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着を目指した働き掛け
- ・家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成

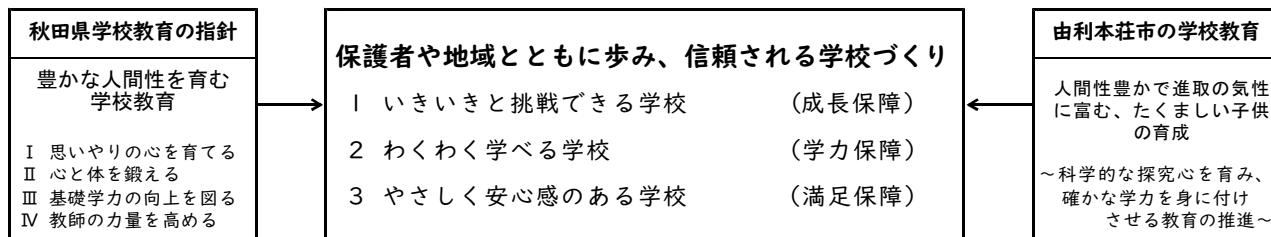
(4) 教職員の役割と支援体制

- ・子どもたちの主体性を尊重した「伴走型支援」を基本に、必要なサポートの実施
- ・授業改善や教職員の専門性向上のための研修会を実施
- ・ゆるやかなチーム担任制の推進による情報共有の徹底と教職員間の連携強化
- ・「いじめ防止基本方針」の周知徹底（未然防止、早期発見、即時対応、丁寧な見守り）
- ・保護者との教育相談の充実とSSW等の外部機関等との連携強化

(5) 働き方改革の推進

- ・仕事の効率化、業務の不断の見直し
- ・先を見通した働き方、時間を意識した働き方
- ※遅くとも18時30分には退勤（優先順位の明確化）
- ※1か月の平均時間外在校等時間45時間以下

学校経営の方針



学校教育目標
自律 ~いきいき わくわく やさしく~

目指す子どもの姿		
◎いきいき ⇒自律した生き方ができる子ども ・自分の考えに基づいて行動し、困難を乗り越えるしなやかな心をもつ子ども	◎わくわく ⇒自律した学びができる子ども ・学ぶ意義を理解し、主体的に取り組む姿勢をもちながら、自分に合った方法で学びを深めていく子ども	◎やさしく ⇒自律した関わりができる子ども ・他者の気持ちや状況を理解し、相手を尊重しながら自分の考えを伝え、協働できる子ども

令和8年度の重点

生徒指導の視点を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）

☆成長保障～子どもたちの成長を支える教育環境の整備 ・教育活動全体を通じた子どもの自己肯定感・自己有用感の醸成 ・日常的な自己決定の場の提供と、挑戦を歓迎する文化の醸成 ・意欲と向上心を高めるめあての設定と振り返り活動の重視 ・子どもの小さな成長や努力に対するポジティブな声かけ ・保育園・小・中学校との効果的な連携による成長を連続的に捉えた指導 ・コミュニティ・スクール機能を生かした開かれた学校づくりと家庭や地域との協働	☆学力保障～子どもたちの主体性を育む授業改善 ・生徒指導の視点に基づく、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり ・「アウトプット」「自己決定」「協働」を重点とした授業改善の推進 ・自ら計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」の取組の充実 ・国や県の調査問題、単元評価問題等の授業における効果的な活用 ・支援を要する子どもへの適切な支援の継続と、ユニバーサルデザインの視点による授業づくり	☆満足保障～心豊かな人間関係の構築 ・教育活動全体を通じた道徳教育の充実（道徳科の授業づくり、規範意識の向上等） ・日常的に「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に伝えられる雰囲気醸成 ・子ども同士が共感的な人間関係を築けるような、対話や協働の機会の充実 ・相手や場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着を目指した働き掛け ・家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成
---	---	---

授業改善のテーマ

主体的に学ぶ子どもの育成

岩谷小学校の教員として(一校一心)

- 1 子どもの自律を支え、心に寄り添いながら成長に導く教師
- 2 学びをデザインし、子どもの主体性を引き出す授業づくりを目指す教師
- 3 子どもと共に歩み、成長の喜びを分かち合える教師
- 4 地域と共に歩み、保護者・地域から信頼される教師
- 5 教員としての使命感と自覚をもち、健やかに専門性を磨き続ける教師

生徒指導の視点を生かした授業づくり

段階	主な学習活動	生徒指導の視点を生かした教師の支援のポイント
導入	○課題設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・教材提示の工夫 ・発問の工夫 </div>	●自己決定の場の提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・興味・関心を高め、子どもの学習意欲を喚起する問題提示や事象提示の工夫をする。 ・多様な考えや思考のズレを生むような発問を工夫する。 ・子どもの問いを生かし、自分事として捉えることのできるような課題設定のしかたを工夫する。 </div>
展開	○課題追究・課題解決 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・自力思考 ・ペア、グループ学習 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 思考力・判断力・表現力 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 学びに向かう力・人間性 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ・全体で学び合い (アウトプット・協働の場の設定) </div>	●自己決定の場の提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・結果の見通しや解決方法の見通しをもつことのできる場や時間を設定する。 ・考えたり見たりする際の視点を具体的に示す。 ・解決方法に応じて学習形態等を選択できるようにする。 ・教科書のほか、図書資料、ICT等を効果的に活用できるようにする。 ・個に応じた支援や助言の仕方を工夫し、準備する。 ・考えや思いを、言葉や式、図、絵等で自分なりに表現できるようにする。 </div> ●自己存在感の感受 ●共感的な人間関係の育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・ネームプレート等を活用し、一人一人の考えを尊重しながら学び合いに生かすようにする。 ・友達の考えと比較しながら自分の考えを発表したり、関連付けたりできるようにする。 ・ペアやグループ学習を取り入れ互いに意見を交換し、協力して課題を解決することで、自己の役割や貢献を実感できるようにする。 ・机間指導を通して、子どもの考え等を見取り、意図的指名に生かす。 ・一人一人の反応やつぶやき、誤答を生かして学びが深まるようにする。 ・子どもの考えを最後までしっかりと聞き、受け止める。 ・相互に説明したり、評価したりする活動を取り入れ、お互いのよさに気付くことができるようにする。 </div>
終末	○振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 知識・技能 学びに向かう力・人間性 </div>	●自己存在感の感受 ●共感的な人間関係の育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・振り返りの視点を明確に示し、本時の学んだことを自覚できるようにする。 ・意図的指名を活用し、学びの変容を実感できるようにする。 </div>

